令和元年度　学校関係者評価委員による評価書　　東洋町立甲浦中学校　　**学校教育目標　「主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる生徒の育成」**

項目	自己評価	中期経営目標	主　な　取　組　内　容	取組内容の評価指標	達成状況	改善方策	学校評価委員による評価	評価
確かな学力	S・A・(B)・C	①甲浦中学校の授業スタンダードの質の向上を図る。 ②主体的・対話的に学ぶ授業を創造することで、思考力・判断力・表現力を養う。 ③家庭・地域との協働により、家庭学習の充実と良い生活リズムの確立で学力向上を図る。	①「教科間連携事業」によるチーム会を定着させることで教職員自身が主体的・対話的に授業改善を図る体制を構築する。 ②授業改善のための校内研修を充実させ、「授業スタンダード」の質の向上を図る。教科間連携を図り、改善プラン訪問を活用し、教科の枠を超えた授業力の向上を研究する。 ③家庭訪問や広報活動の充実により、家庭と連携して家庭学習の質と量を高めていく。 ◆学期ごとの振り返りを全教職員で行いPDCAを生かした教育実践を行う。	（1）アンケート結果（強い肯定の割合） 平均50%以上 ①授業後、「できた、わかった」が実感できる ②自分の考えを根拠に基づいて説明できる （2）組織的な授業改善 ①②週1回のチーム会の実施（年35回） ①②月1回の研究職員会の実施 ①②全授業者による公開授業の実施（最低1回） （3）家庭学習時間 ③90分以上（50%以上） ③30分未満（6%以内）	（1）アンケート結果（肯定的評価の割合） ①授業後、「できた・・・94% ②自分の考えを根拠に・・・88% （2）組織的な授業改善 ①②週1回のチーム会の実施（年30回） ①②月1回の研究職員会の実施（年12回） ①②全授業者による公開授業が実施できた （3）家庭学習時間 ④90分以上（50%以上）→70% ⑤30分未満（6%以内）→0% ●授業スタンダードの流れは定着しつつあるが質の向上を図る必要がある。アンケート結果が正答率に繋がっていない。 ●各学年とも全体的には全国平均と言える。	★持続可能な学力向上体制を確立し、質の向上を図る。 ①チーム会の実施（毎週1時間） ②学習部会の実施（2週間に1度） ③研究職員会の実施（月に1度） 〇チーム会で「熟議」し、学習部会で「マネジメント」し、研究職員会で「協働」していく。このサイクルを確立することでPDCAを生かした授業改善につなげていく。 〇学校生活7カ条や東洋っ子生活リズム計画を効果的に活用し、家庭と地域との協働での学力向上も仕組んでいく。	（成果） 〇スタンダードを作成し、全校生徒に配付し、教室の掲示等、授業者が授業の進め方を明らかにして取り組んだことは良かった。 引きつける授業もできていたのではないか。 〇家庭生活7カ条や東洋っ子生活リズム計画等、取組を明確にしたことは評価できるのではないか。 （課題） 〇生徒が自主的に家庭学習に取り組めていたか疑問がある （改善や要望） 〇学力向上に欠かせない家庭学習の指導について工夫をしてもらいたい。	S・(A)・B・C
豊かな心	S・A・(B)・C	①「保・小・中一貫教育」及び「地域との協働」により、『主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる生徒』を育成する。 ②よりよい人間関係づくりを推進することで、規範意識及び自尊感情の高揚を図る。	①甲浦の教育を考える会でどんな取り組みができるかマネジメントしていく。 ②保・小・中の子どもの交流や発表会の実施により、子ども同士の発達段階に応じた好ましい人間関係を構築する。 ①②「総合的な学習の時間」の充実した取組を通じて、主体性を育む。 ◆生徒の主体的なチャレンジを支援・評価する。	アンケート結果（肯定的評価の割合） （1）郷土愛 ①自分のすんでいる地域が好き（100%） ②地域の方々に感謝している（100%） ③地域に貢献できる人間になりたい（100%） （2）チャレンジ精神（平均80%以上） ④目標を実現するために努力できる ⑤難しいことでも失敗を恐れず挑戦している ⑥将来の夢や目標を持っている （3）コミュニケーション力（平均80%以上） ⑦自分から進んで人に挨拶できる ⑧人の考えや発表を誠実に聞くことができる ⑨自分の考えや思いを伝えることができる	アンケート結果（肯定的評価の割合） （1）郷土愛 ①自分のすんでいる・・（100%→88%） ②地域の方々に感謝・・（100%→100%） ③地域に貢献できる・・（100%→88%） （2）チャレンジ精神（平均80%以上→84%） ④目標を実現する・・100% ⑤難しいことでも・・77% ⑥将来の夢や目標を持っている・・77% （3）コミュニケーション力 （平均80%以上→94%） ⑦自分から進んで・・94% ⑧人の考えや発表を・・94% ⑨自分の考えや思いを・・94% ●保小中教職員が熟議し、そして生徒の立場からもめざす子ども像を協議した意義は大きい。	★持続可能な地域とともにある学校を実現し、子どもの成長を協働して育んでいく。 〇保小中一貫及び地域との協働により甲浦の子どもたちを成長させていく体制が整った。どんな子どもを育てるか。どんか姿を発達段階において実現していくか。そのためにどんな取組をしていくか。明確化していく。 〇地域の人的・物的財産を活用して、地域ぐるみで子どもたちの成長を育み、地域貢献活動に参画することで、甲浦の子どもたちの豊かな心の成長を育んでいく。	（成果） 〇総合的な学習の発表会をみても自分の町について考えを深めるなど心の成長を感じた。 〇チャレンジ精神・コミュニケーション力・郷土愛についてはこの1年育っていることがよくわかった。 〇挨拶がよくできている。しかし大きな声での挨拶も期待したい。	S・(A)・B・C
健やかな体	S・(A)・B・C	①運動習慣の定着、体力向上の意識化を図る。 ②体育的行事や体育の授業を通じて、主体的に運動を行う意欲を高める。 ③部活動の充実を図り、体力面や精神面の向上を図る。	①基本的な生活リズムの定着が運動能力や体力の向上、健康な体作りに繋がることを生徒、保護者にも啓発していく。 ②発達段階に応じ、適切な評価を行い、体力、運動能力を高める体育的行事や体育の授業を工夫する。 ③部会の実施や複数教員での効果的な指導、外部指導者の活用により、心身の成長に繋げる。 ◆部活動及び体育的行事の充実を図る。	アンケート結果（肯定的評価の割合） （1）運動関係 ①体育の授業が好きである（80%） ②部活動は充実している（80%） （2）生活リズム ③スマートフォン・テレビ・ゲームの時間 （平日　2時間未満60%以上） （3） ④毎日朝食を食べている（100%） ⑤基本的生活習慣の項目（5項目） （肯定的評価の割合）85%以上	アンケート結果（肯定的評価の割合） （1）運動関係 ①体育の授業が好きである（90%→100%） ②部活動は充実している（85%→88%） （2）生活リズム ③スマートフォン・テレビ・ゲームの時間 （平日　2時間未満60%以上→70%） （3）基本的生活習慣 ④毎日朝食を食・・（100%以上→100%） ⑤基本的生活習慣の項目（5項目） （肯定的評価の割合）85%以上→92% ●SC・SSW・スクールヘルスリーダーと連携し、また生徒会組織を活用して学校生活7カ条を活用した。 ●甲浦運動会の実施、部活動方針の周知・徹底も図った。 ●部活動でも小中連携及び地域との連携が進んだ。	★持続可能な体育行事の実現及び部活動運営を図る。また、家庭及び地域との協働で基本的生活習慣の定着を図る。 〇学校生活7カ条及び東洋っ子生活リズム計画の効果的な活用により、保小中及び家庭・地域との協働で、基本的生活習慣を確立していく。 〇地域参画型の部活動運営や体育行事の充実を図る。 〇部活動に選択の余地がない上、全校部活制を導入している。メリットはあるが苦手意識を持っている生徒への手立てや部活動方針の徹底を図っていく。	（成果） 〇部活動については楽しんで取り組んでいる生徒が多いと思う。上達する姿をみるのは楽しみである。 〇全校部活動制が実施され個々の課題があるなかでも配慮がなされている。 （課題） 〇スマホ・テレビ・ゲームそして朝食のアンケート結果は正確であるか疑問である。 （要望） 〇スマホや朝食の取組は家庭と連携して取り組んでもらいたい。 〇早寝・早起き・朝ご飯、そして遅刻をさせない等に特に力を入れて取り組んで欲しい。	S・(A)・B・C
保護者地域との連携	S・(A)・B・C	①『甲浦保・小・中学校運営協議会』を立ち上げ、子供に育むべき資質・能力を明確化し、共有する体制を確立する。（令和2年度） ②『甲浦地域学校協働本部』を立ち上げ、地域の人的、物的資源を活用し、地域との協働で子供の成長を育み、地域創生を行う体制を確立する。（令和3年度）	①②『甲浦の教育を考える会』での熟議を通じて、組織づくりを進めていく。 （メンバー・規則・協議内容等） ②保護者及び地域の参画を得て学校行事を充実させていきながら組織の立ち上げを並行して検討していく。 〇運動会（保小中合同運動会） 〇日曜参観日（2学期） 〇部活動支援 ◆地域が参画できる機会を多くする。	①甲浦の教育を考える会（月1回） ①令和2年3月に次年度の学校運営協議会委員を委嘱する。 ②運動会への保護者の参画率90%以上 ②日曜参観日の保護者の参画率90%以上 ②部活動支援（年間150日以上） ②地域学校協働活動延べ人数500人	①甲浦の教育を考える会（年8回） ①令和2年度甲浦地区保・小・中学校運営協議会発足（委員15名） ②運動会への保護者の参加率90% ②部活動支援（年間約160回） ②地域学校協働活動延べ700名 〇甲浦運動会の練習・参画・後片付け 〇文化発表会へ参加 〇保育園・婦人会との餅つき交流会等 ●甲浦の教育を考える会において、保小中一貫教育及び地域との協働を中心に学校行事を充実させると同時に、体制作りについて協議を深め見通しが立った。 ●土曜参観日も実施し、約90%の保護者の参加があった。	★持続可能な地域とともにある学校を実現していくための体制を構築する。 ●甲浦の教育を考える会（年6回） ※運営協議会で決まった内容をマネジメントしていく。 ●甲浦地区保・小・中学校運営協議会 （年6回） ※めざす子ども像や地域学校協働活動をどう推進して行くか熟議していく。 ●甲浦地域学校協働本部を令和3年度に発足させるための準備をしていく。 ●甲浦運動会やPTAの在り方についても協議を深めていく。	（成果） 〇地域を巻き込んだ運動会の実施など、学校も地域も生き生きした姿がみられ良かった。運動会の実施時期は5月開催も含めてお年寄りの参加しやすい時も検討すべきだ。 〇運動会・文化発表会・土曜参観日等、地域と保護者、生徒や教職員が一体となった素晴らしい取組であった。 〇学校行事で案内の配付も含め、地域を巻き込む工夫がなされ、たくさんの地域の参加がある行事が多かったのは良かった。	(S)・A・B・C
保小中一貫教育	S・(A)・B・C	保・小・中における教育実践を効果的に行うことで、学びを将来や生活につないでいくための持続可能な体制づくりを構築する。	①子どもたちの交流を図ることで自尊感情を高め、発達段階に応じた成長を育む。 ②保護者間の交流を図ることで、子どもの成長を育むためのPTA活動を活性化していく。 ③教職員研修を充実させることで『保小中一貫』及び『地域との協働』びよる『地域とともにある学校』の体制づくりの必要性を認識し、甲浦の教育の方向性を確認する。 ◆カリキュラム・マネジメントの確立	（1）子どもの交流活動 ①6年生と中1との交流 ①保小中合同運動会 ①保育園児と中学生の餅つき ①中学生の保育実習 ※アンケート（肯定的評価の割合） ■中学校生活が楽しみである（5・6年生アンケート　11月実施　90%以上） （PTAの交流） ②子育て後援会の実施 （教職員の交流） ④合同研修会（年3回） ⑤合同連絡会（年2回） ◆学びに向かう力　肯定的評価90%以上	（1）子どもの交流活動 ①5年生と6年生がバレーボール部の練習に参加できる日を設定し、良き相互交流につながった。 ①保育園児と中学校が婦人会の参加と指導をいただき、餅つき交流会を実施して学びを深めることができた。 ①中学生が保育実習に参加して良き交流の場となった。 （2）PTAの交流 何かについて研修や交流を持つには至らなかった。 （3）教職員の交流 運動会や研修会等交流を深めた。どんな子どもを育てるか、そのためにどう取り組んで行くか協議に取りかかった。	★持続可能な保小中の交流体制を構築していく。 ●甲浦地区保小中学校運営協議会で『甲浦がめざす子どもの姿』のテーマを決定して、保小中の教職員で評価規準や保小中が連携してどんな取組をしていくかカリキュラムを作成していく。 ●保護者の交流についてはPTAの組織や在り方について協議を深め今後についての体制や方針を明確にしていく。 ●教職員の交流についても何を交流していくか明確にする。	（成果） 〇保育園と婦人会と餅つき交流を行ったり、熟議を行うなど連携を意識した取り組みが行えている。 （要望） 〇甲浦地区保・小・中学校運営協議会の準備が整い、スタートするということで、その取り組みに期待したい。	S・(A)・B・C

※評価欄　　評定S「優れている」、評定A「良い」、評定B「おおむね満足」、評定C「要改善」

※この評価書は、年度末に学校のホームページで公表